

# 太宰府市俳句ポスト第百三十回入選者

令和八年二月十一日〜令和八年五月十二日

選者 阿比留 初見

神苑の明るさ誘ふ木の芽風

福岡市 草野 尚葉

学友と門出を祝ふ梅の花

栃木県 須永 来夢

梅見ゆる窓側選ぶ茶屋の席

福岡市 満重 勇二

蕊残し風の中なる糸桜

筑紫野市 笹倉 裕子

白梅に閻魔様さへ微笑みて

朝倉市 中村 美紀子

早起きの徳を説く人春めけり

小郡市 宮原 勝彦

絵馬の数ほどに色づく梅の花

大阪府 渡辺 心柚里

ふる里の八重紅梅に脚止めて

千葉県 土谷 裕一

鬼瓦ひらりと躲しつばめ来る

福岡市 白井 道義

やはらかき蓬摘む手の速さかな

筑紫野市 村田 芳花

夕空に赤く染まりし梅の花

神奈川県 久保 柚月

飛梅の一輪残る佳き日かな

太宰府市 吉田 秀子

静寂を深めて庭の木の芽雨

太宰府市 座親 フミ子

園児等の歌声清し木の芽風

筑紫野市 小山 せい子

山望む都府楼跡の長閑なり

太宰府市 西元 治雄

お花見は一人でもさびしくない

福岡市 いとう めい 八歳

三連休パパの運てん春やすみ

滋賀県 松本 直樹 八歳

校庭に桜まいちる進級日

熊本県 新開 紗那 十一歳

遊園地合格祝い青い空

筑紫野市 西谷 優貴子 十四歳

夢のよう友と一しよの卒業式

筑紫野市 大楠 珠寛 十四歳